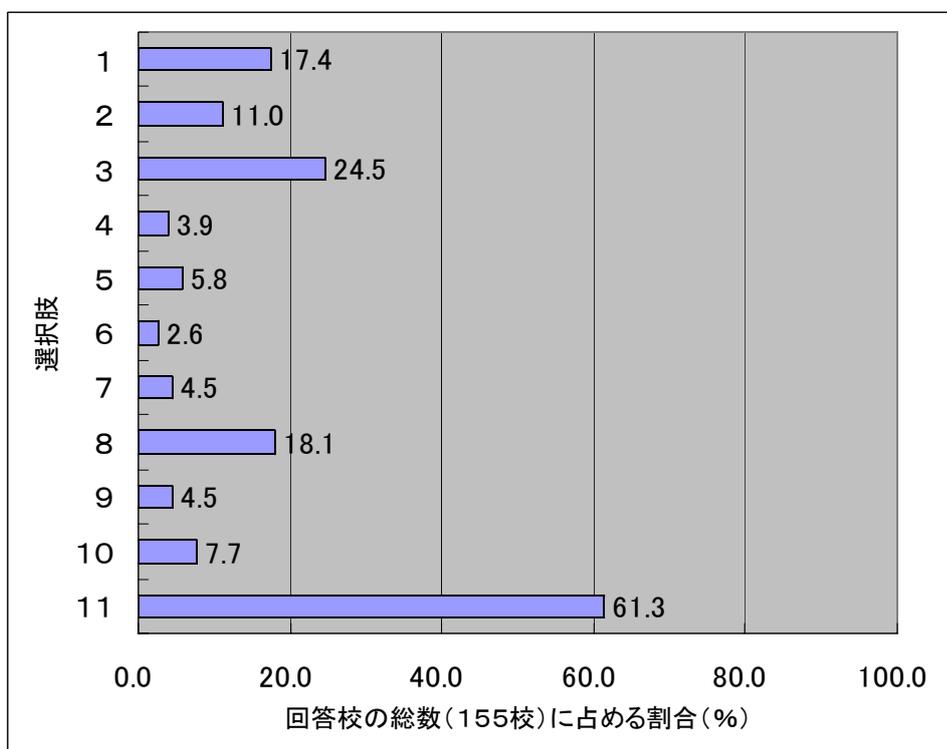


**(参考 I) 高大連携に関する実態調査の結果**

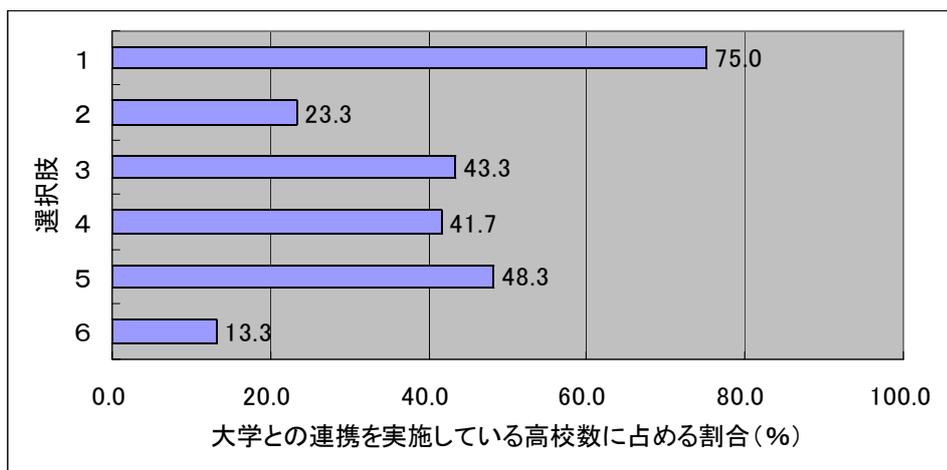
**1. 貴校が大学と連携して行っている活動を選んで下さい。(複数回答可)**

- 1 大学における講義の聴講 (27校)
- 2 研究室訪問、実験・実習体験 (17校)
- 3 大学の教員を招聘して高校で行う講義 (38校)
- 4 高校教員と大学教員による指導力向上のための研修会等の開催 (6校)
- 5 高大教員が参加した定期・不定期の意見交換等の実施 (9校)
- 6 実験機器貸出 (4校)
- 7 大学の施設開放 (7校)
- 8 大学生の教育実習の受け入れ (28校)
- 9 学生ボランティアの受け入れ (7校)
- 10 その他 (12校)
  - ・城西国際大学の留学生16名を招き、「総合学習」の活動の一部として交流を行った。
  - ・法政大学の生徒の協力を得、「聞くスキル」のSST (social skills training) を全校で実施。また、SSTに関する講座を10回程度総合的な学習の時間に実施。
  - ・大学模擬授業、千葉大学との連携による講座。 等
- 11 特になし (95校)



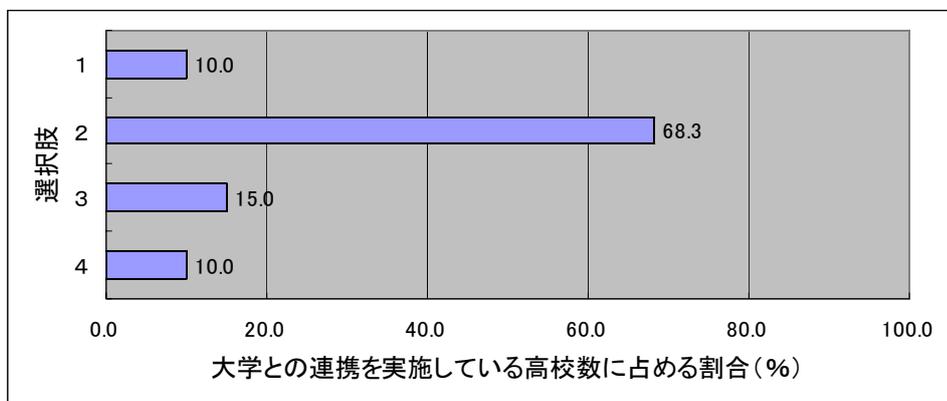
**2. 貴校が大学との連携を行うにあたっての目的を選んで下さい。(複数回答可)**

- 1 生徒の進路選択の支援 (45校)
  - 2 高校の教育課程の多様化 (14校)
  - 3 生徒の学力の向上 (26校)
  - 4 高度な学習や実習に対する生徒のニーズへの対応 (25校)
  - 5 大学との交流の推進 (29校)
  - 6 その他 (8校)
- ・工業教育の推進、高校と大学の相互理解など



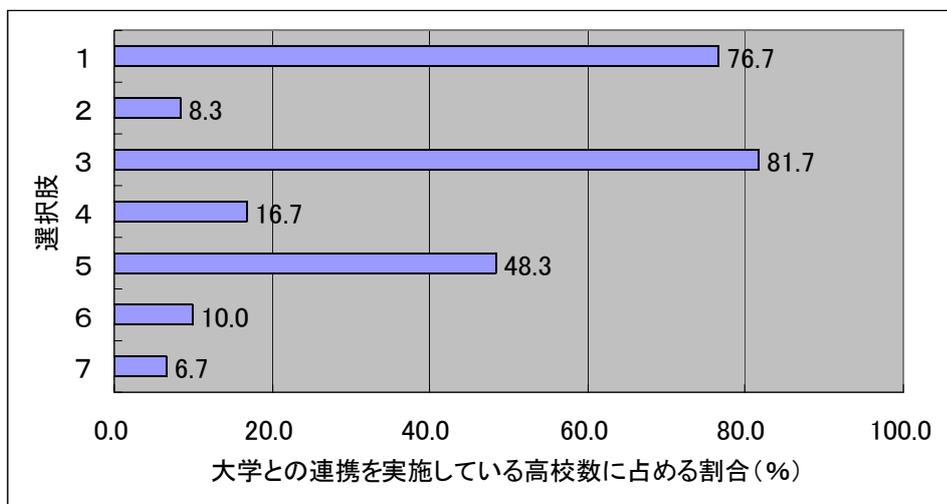
**3. 貴校における高大連携の担当教員の体制を選んで下さい。(1つ選択)**

- 1 全てを1名の教員が担当している。(6校)
  - 2 高大連携の責任者(窓口)を1名おいた上で、複数の教員が担当している。(41校)
  - 3 複数の教員が個々に担当しており、特定の窓口は置いていない。(9校)
  - 4 その他(6校)
- ・教頭を窓口として  
・窓口は進路指導部職員1名、実施においては進路指導部、第2学年連携 等



4. 大学との連携によって得られた効果を選んで下さい。(複数回答可)

- 1 生徒の意欲や問題意識の高まり (46校)
- 2 高等学校の教育課程の改善 (5校)
- 3 生徒の進路選択に寄与 (49校)
- 4 大学への進学実績の向上 (10校)
- 5 大学との様々な面での繋がり深まり (29校)
- 6 教員の資質向上 (6校)
- 7 その他 (4校)
  - ・ 生徒の高校での授業(生物)への取組の向上 等



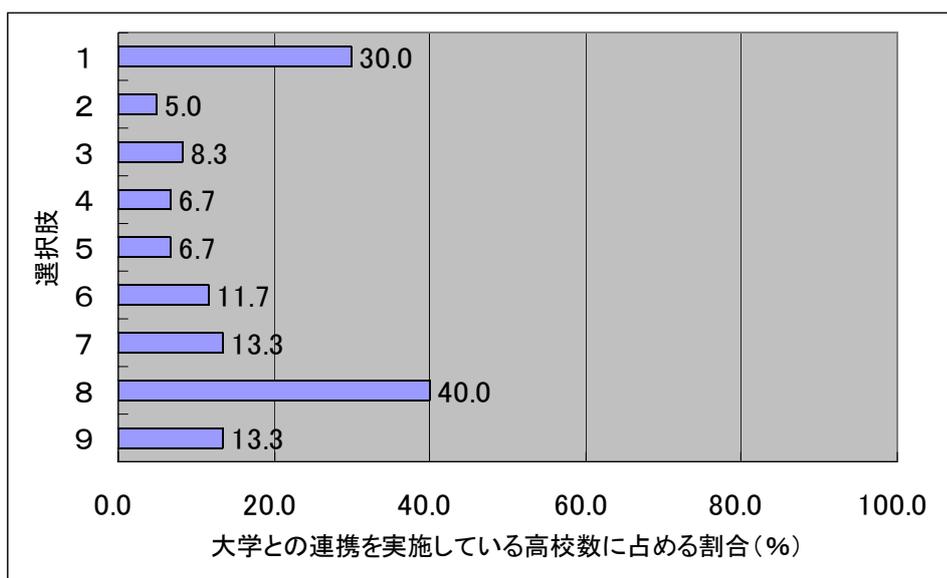
5. 大学との連携により生徒に現れた変化があればご記入下さい。

(回答からの抜粋)

- 大学進学への意欲が高まった。
- 中学校から不登校であった生徒の登校刺激及び高校における学習意欲の向上。
- 参加した多くの生徒が科学に対する興味や関心を深めた。また、大学に進学して、研究者になりたいという生徒も現れた。
- 3年連続して実施することによって、生徒の中で恒例の行事になってきている。3年間連続して参加した生徒も多い。
- 本校では総合的な学習の時間の中で「大学の先生に話を聞く会」を実施し、「大学ではどんな研究をしているのだろうか」をテーマに大学の先生に講義をさせていただいている。参加生徒の多くは大学の勉強に対する興味・関心が深まり、進路に対し意識の高まる傾向にあった。
- 今年度、SPP事業に申請することを生徒に予告したことにより、大学に行ってみてみたいという強い意志を持つようになった。実際に大学教員による模擬授業を体験したら、その効果は計り知れないものがあると思われる。

6. 大学との連携に関して問題点・課題があれば選んで下さい。(複数回答可)

- 1 受講生が期待したほど多くない (18校)
- 2 学習面や進路選択面で期待したほどの効果がない (3校)
- 3 学習内容面で、高校・生徒の期待とのギャップがある (5校)
- 4 高校の教育課程の改善に十分生かせない (4校)
- 5 生徒の受講状況を正確に把握できない (4校)
- 6 学修成果の評価が困難 (7校)
- 7 通学や受講料等の面で、生徒の負担が大きい (8校)
- 8 事前準備や連絡調整等の面で教員の負担が大きい (24校)
- 9 その他 (8校)
  - ・ 進学を考えている生徒以外には動機付けが難しい。
  - ・ 高校内及び大学内において、高大連携に対する認識、意識、関心が低い場合が多く、高校・大学双方ともに一部教職員の負担が多大となってしまう。また、関心がある場合でも、実際に何ができるか、何をやったらどのような効果が期待できるかが分かりづらいために、なかなか進展が望めない。 等



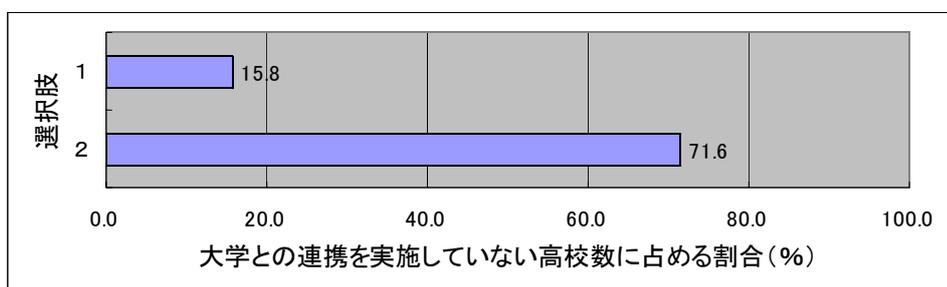
**7. 高大連携で大学側にはどのようなメリットがあると考えられるかご自由にご記入下さい。**

(回答からの抜粋)

- 高校生の実態を把握することができる。
- 大学側のアピールの場になった。
- 生徒募集の観点からはメリットがあるが、高大連携事業を展開する上での大学側の負担は多大なものがある。どこまでそれを還元できるかは疑問である。情報交換を進めることによって、早期の大学中退者を減らすことができると考えられる。
- SSTのモデリングが得られた。
- 高校生に大学での研究内容等を説明することによって、学部・学科のミスマッチを減らすことができる。
- 大学での取組を詳しく紹介することができる
- 受験生獲得のための宣伝の機会になる。

**8. 今後、大学との連携を検討する予定はありますか。(1つ選択。本設問は大学との連携を行っていない高校のみ回答。)**

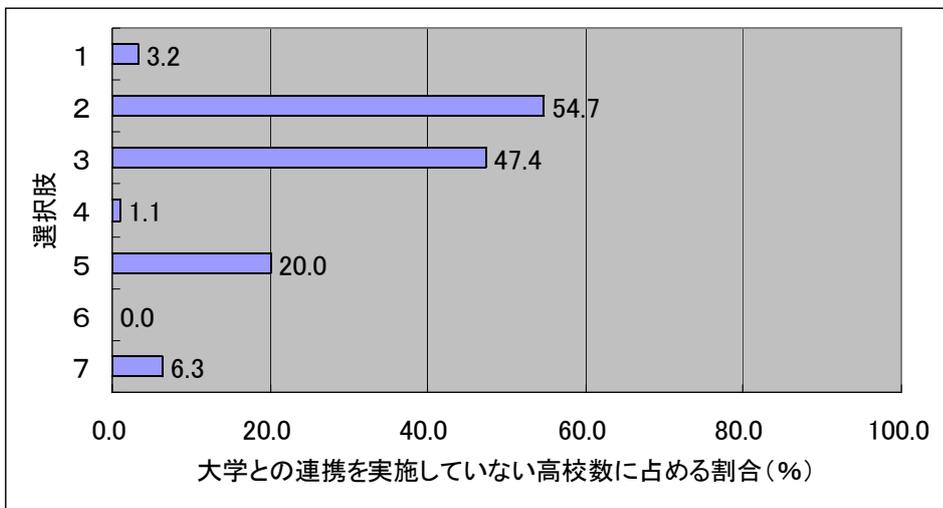
- 1 ある (15校)
- 2 ない (68校)



**9. 大学との連携を行っていない理由を選んで下さい。(複数回答可。本設問は大学との連携を行っていない高校のみ回答。)**

- 1 高大連携の意義を認めていない (3校)
- 2 生徒からのニーズがない (52校)
- 3 高校の内部の体制が整っていない (45校)
- 4 大学側の窓口がどこか分からない (1校)
- 5 近隣に適切な大学がない (19校)
- 6 大学からの協力が得られなかった (0校)
- 7 その他 (6校)

・平成23年度より統合し新しい高校となるため。 等



**10. 大学との連携の今後の方向性についてのお考えを自由にご記入下さい。**

(回答からの抜粋)

- より多くの学生に来てもらい、多様な生徒への一助としたい。
- それぞれの分野で高い専門性を有する大学と連携し、生徒の学習活動や進路実現に向けての一助とするのは、高等教育の一つの理想だと思うが、全ての高校がそうすることが望ましいとは思わない。学校の実態に応じて、連携を進めるもよし、連携しなくてもよし、これまでどおりの在り方でよいかと考える。
- 大学のみならず企業との繋がりも持たせるべきである。むしろ、大学より企業との連携の方が、生徒にとっては有意義だと思う。
- 大学での講義聴講等を積極的に進めるべきだと思う。
- 高等学校の特色ある教育活動の一つだと考える。生徒が生き方・在り方を考える上で効果的な刺激となり得る。在籍生徒の特性をよく見極めて検討する必要がある事業だと思う。

**1 1. 大学との連携に関して、大学あるいは県教育委員会に望むことがあれば自由にご記入下さい。**

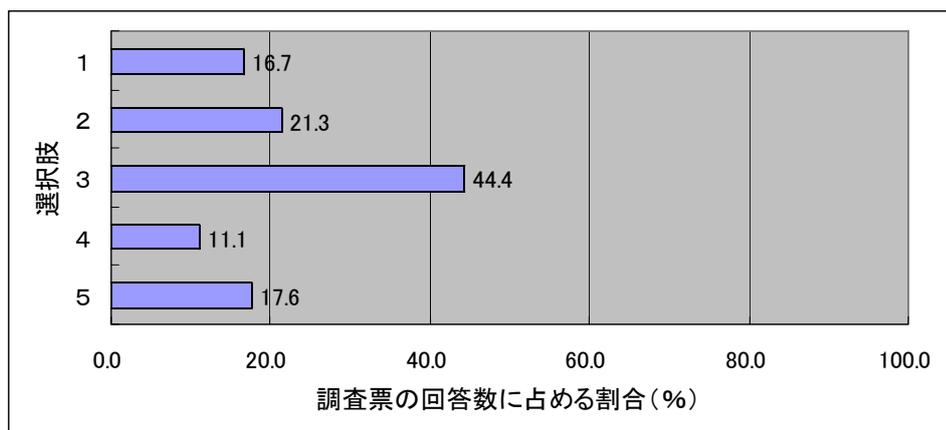
(回答からの抜粋)

- 予算面の補充の拡大 (他多数)
- 他県、他校での実施している状況を共有したいので機会を作って欲しい。
- 受け入れ可能な講座について県内の大学の一覧表があれば助かります。
- 学校の授業時間に柔軟性を持たせ、各学校が自由に取り組みやすい環境を整備すべきである。
- 大学側が早く定員確保をしたいがために、高校生に対して安易に履修・聴講を許可したり、単位を授与したりすることがないよう、高大連携に関して双方で十分、協議する必要があると思う。
- 様々な形で知らされているところではあるが、高等学校の教職員は、まだ知識に乏しい状況である。そこで、実践事例の紹介の機会を設けていただくなど職員研修の機会拡充をお願いしたい。
- 学校によっては大学の方から連携の声がかかることも少なくないが、本校には全くない。生徒のニーズの少なさもあるとは思いますが、学校に関わらず少人数であっても連携を考えてくれる大学が増えることを望む。

**< 1 2. 以降は連携している大学ごとに別様にして回答 >**

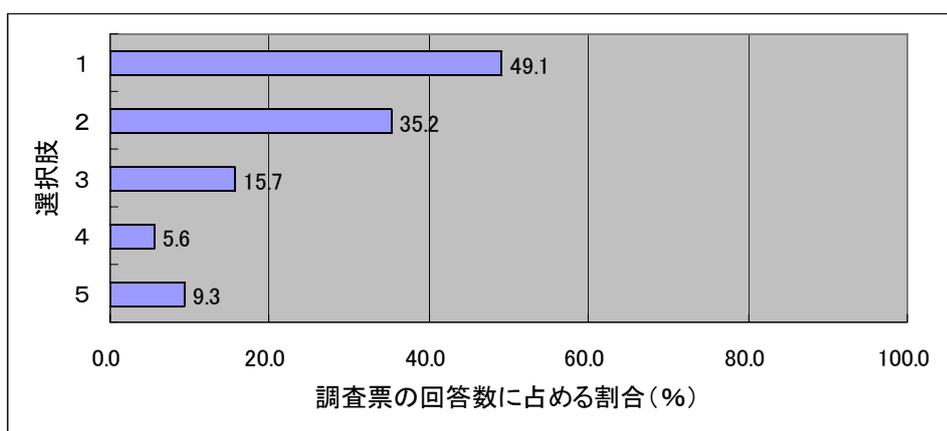
**1 2. 貴校が連携先の大学を選んだ理由を選んで下さい。(主たる理由を1つ選択)**

- 1 通学に便利である。(18校)
- 2 日頃からその大学と交流が多い。(23校)
- 3 その大学に進学する生徒が多い。(48校)
- 4 その大学に生徒に受講させたい講義がある。(12校)
- 5 その他。(19校)
  - ・ なるべく地元の大学を考えた。
  - ・ 工業教育を推進するために工学系大学と連携している。 等



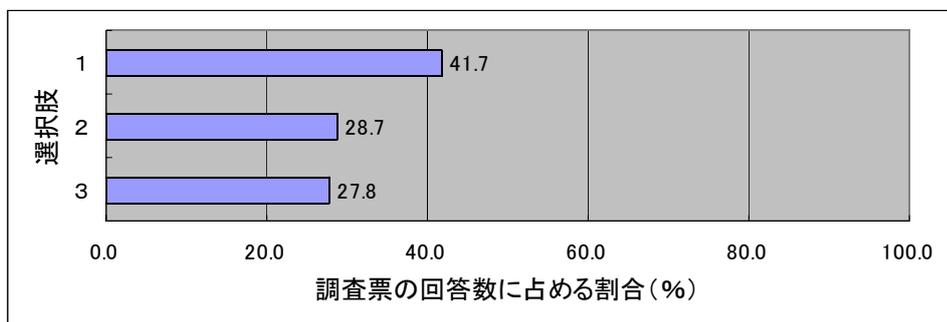
**1 3. 大学との連携はどのような形態で行っていますか？（複数回答可）**

- 1 協定は締結せず、スポット的に行っている（53校）
- 2 単独の大学との一対一の協定による（38校）
- 3 複数の高校、大学との包括協定による（17校）
- 4 教育委員会と大学との協定による（6校）
- 5 その他（例 S P P等の事業）（10校）
  - ・ S P Pの事業
  - ・ 魅力ある高等学校づくりチャレンジ支援事業 等



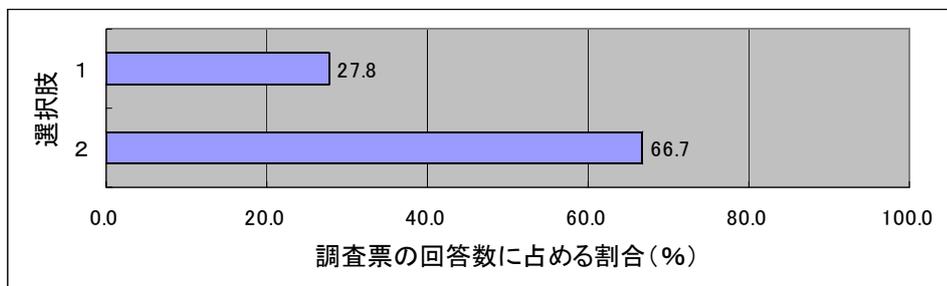
**1 4. 公開講座、出張講義等の学習内容についてはどのように決めているかを選んで下さい。（1つ選択）**

- 1 高等学校と大学とで協議して決めている。（45校）
- 2 大学側が決めている。（31校）
- 3 高等学校側が決めている。（30校）



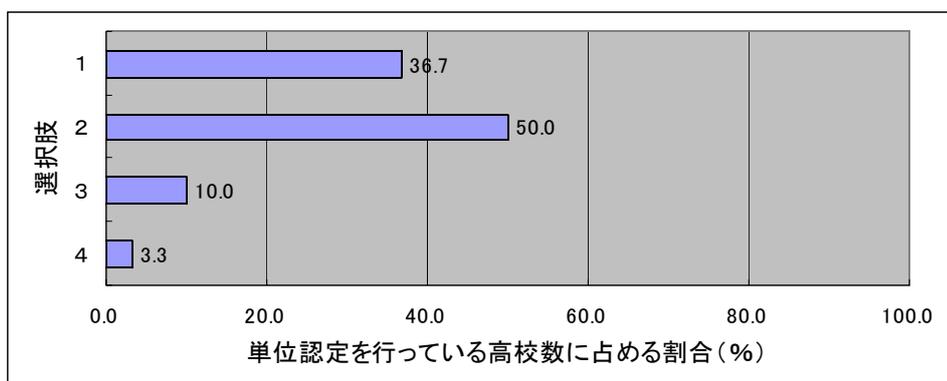
**15. 高校生が高校あるいは大学で大学教員の講義を受講している場合、高校の単位を認定していますか？（1つ選択）**

- 1 はい（30校）
- 2 いいえ（72校）



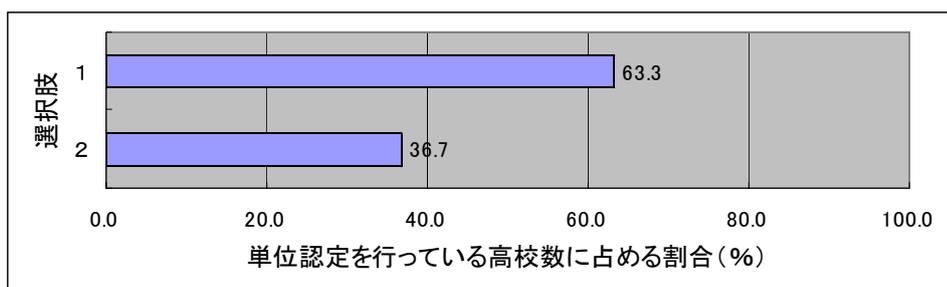
**16. 講義の受講について単位を認定している場合、その方法を選んで下さい。（1つ選択）**

- 1 大学からの報告と高等学校が課すレポートに基づき単位を認定（11校）
- 2 大学からの報告に基づき単位を認定（15校）
- 3 出席のみで単位を認定（3校）
- 4 その他（1校）



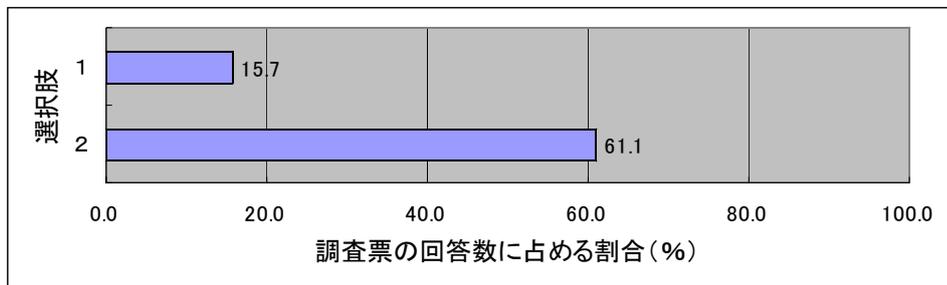
**17. 単位を認定している場合、卒業単位に含めますか？**

- 1 はい（19校）
- 2 いいえ（11校）



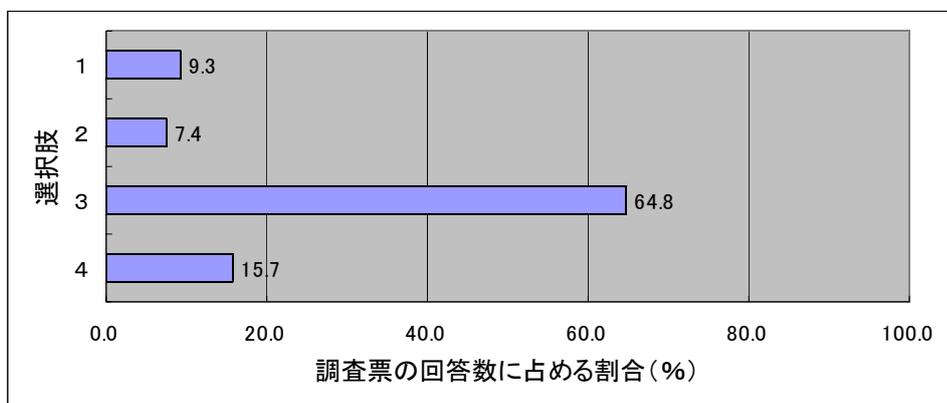
**18. 講義を受講する場合、生徒は受講料の納付が必要ですか？（1つ選択）**

- 1 はい（17校）
- 2 いいえ（66校）



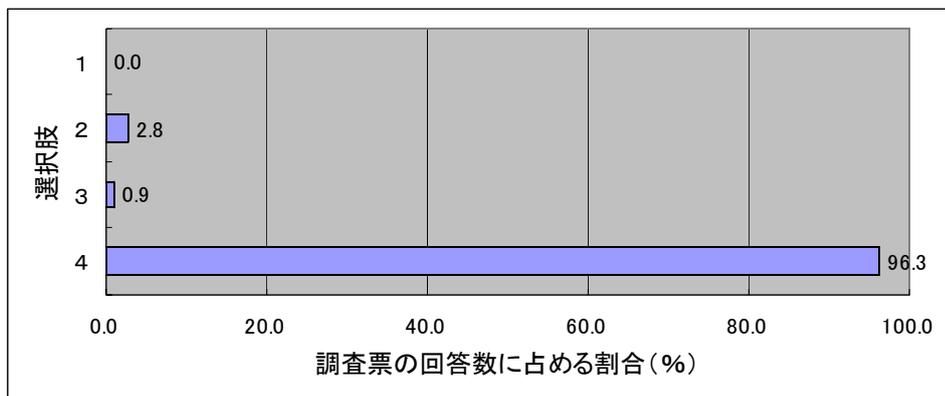
**19. 公開講座、出張講義等の講師の謝金、交通費の負担はどのようにしていますか？（1つ選択）**

- 1 謝金・交通費とも高校側が負担（10校）
- 2 交通費のみ高校側が負担（8校）
- 3 高校側の負担はない（70校）
- 4 その他（例 教育委員会が旅費を負担）（17校）
  - ・ 公開講座、出張講義等は実施していない。
  - ・ S P P 事業につき、科学技術振興機構が旅費を負担。
  - ・ 国立大のみ交通費負担。謝礼は全て行っていない。 等



## 20. 大学との連携と入学者選抜が関連した制度がありますか？（1つ選択）

- 1 大学による講座の受講修了者がそのまま推薦入学の対象となる。（0校）
- 2 大学による講座の受講修了者に対する優先的な推薦枠がある。（3校）
- 3 その他（1校）
- 4 特にない（104校）



### <注意事項>

※1 回答校総数 155校 うち、県立高等学校（全日制） 129校  
 県立高等学校（定時制） 19校  
 市立高等学校 7校

※2 この調査において「高大連携」とは、大学と協力して行う教育関連活動全てを指す。  
 よって協定を締結していない場合や単位認定がない場合も調査対象に含まれる。  
 （ただし、オープンキャンパスなど生徒が自主的に参加する場合及びいわゆる入試説明会のみを開催する場合は対象から除く。）

※3 本調査は、平成19年度に行った「高大連携」について回答。